



北山村

議会だより



村民運動会での餅まき（10月6日）
村制130周年記念事業の一環として餅まきが行われました

令和元年9月定例会が開催されました

令和元年9月定例会
平成30年度決算認定・31年度補正予算等を審議/可決 P 2

平成30年度決算の審議 P 3 委員会・定例会での質疑 P 4

一般質問 学校教育について新教育長の考えを問う P 5

国会議員への要望活動 議会の防災の知恵袋 P 6

都会で頑張る出身者の声 P 7 議会日誌 編集後記 P 8

令和元年9月定例会 ～平成30年度決算認定・平成31年度補正予算等を審議・可決～

本定例会は、9月17日から19日（会期3日間）まで開催されました。17日の開会日は、諸般の報告として、村長の施政方針並びに提案理由の説明が行われ、その後、人事案件として諮問案1件、同意案1件の審議、続いて決算の認定が7件、報告が2件、条例の制定及び一部改正が3件、平成31年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案が6件が上程され、合計33件の議案がそれぞれ原案どおり可決承認されました。18日の休会をはさみ、2日目の19日は一般質問が行われ前岡議員が教育行政について質問を行いました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

諮問案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
同意案第2号	教育委員の選任について
認定第1号	平成30年度北山村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	平成30年度北山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	平成30年度北山村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	平成30年度北山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号	平成30年度北山村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号	平成30年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号	平成30年度北山村地域振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について
報告第2号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率について
報告第3号	平成30年度決算に基づく公営企業にかかる資金不足比率について
議案第38号	業務委託契約の締結について
議案第39号	北山村森林環境譲与税基金条例の制定について
議案第40号	北山村使用料及び加入金の徴収に関する条例の一部を改正する条例について
議案第41号	北山村国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の一部改正について
議案第42号	平成31年度北山村一般会計補正予算（第2号）について
議案第43号	平成31年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第44号	平成31年度北山村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第45号	平成31年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
議案第46号	平成31年度北山村簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
議案第47号	平成31年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第2号）について

●本定例会で可決された条例の中から住民生活に関係するものを説明します。

議案第39号 北山村森林環境譲与税基金条例の制定について

この条例は、北山村における間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てるため、国からの森林環境譲与税を基金に積み立てることを定めた条例です。

今年度、国から交付される森林環境譲与税は4,710千円で、そのうち今年度の事業として計画策定、アンケート調査などを行い、残りを基金に積み立てる予定です。

なお、今後は森林整備のための作業道の整備が計画されています。

（問い合わせ先、役場 産業建設課）

議案第40号 北山村使用料及び加入金の徴収に関する条例の一部改正について

議案第41号 北山村国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の一部改正について

10月1日からの消費税増税に伴う村の施設等の使用料や手数料に係る消費税を10%に改正するものです。村民会館やキャンプ施設などの利用料や北山診療所での診療を受ける際の診療費、薬代に係る消費税が10%になりましたのでご注意ください。

平成30年度決算の審議

今回の9月定例会において、平成30年度一般会計及び特別会計の決算認定について議案が提出されました。審議にあたり藪本英明代表監査委員から意見書が提出され一部指摘事項もありましたが、全会一致で認定されました。

監査委員からの意見書の内容

総括

審査に付された各会計歳入歳出決算書等については、関係法令に準拠して作成され、審査した結果計数はいずれも正確であることを確認した。また、予算執行は的確に行われ、かつ収入支出は合法的に行われており、おおむね適正であると認められた。また、財政運営及び資金収支は効率的に行われており、基金の状況についても、計数は正確で、適正であると認められた。

審査の主な個別意見

決算審査にあたり、その他改善及び要望する点を以下のとおり記述することとした。

①村税、使用料等の滞納について村税の全体の徴収率は、99・6%

と前年度と同様高い数値を確保している。引き続き、口座振替や期限内納付の一層の推進を図るとともに、また、納税義務者の不明なものについては相続調査等を行うなど、さらなる徴収率の維持向上に努められたい。税負担の公平性確保のためにも、慎重かつ厳正な徴収事務に取り組んでいただきたい。

なお、決算書において住宅使用料、水道使用料の滞納がみられたが、出納閉鎖後に完納されたことが確認された。今後は期限内で徴収できるように努めていただきたい。

②交付税について

平成30年度の普通交付税については、4億165万7千円で前年度の4億5千48万3千円と比べて△10・8%と大幅な減少となっている。そのため、経常収支比率の大幅な上昇や財政調整基金の取り崩しなど、財政面での不均衡がみられた。

今後も減少が続くと見込まれるので、国から示される算定基準の動向を把握し交付税の算出を適正に行うとともに、予算策定時に必要でない支出を抑えるなど財源に見合った財政運営を検討し、基金からの繰り入れを抑制すること。

③各種団体への補助金及び委託金について

補助金交付がなされた事業、団体については、補助金等交付規則に準じ、事業報告、収支報告等により、当該事業の成果を確認するとともに、執行額が補助額を下回る団体が見合った補助を行うこと。

④基金について

平成30年度において財源不足のため財政調整基金を1億5千7百10万円の取り崩しを行っており、年度末の財政調整基金の残高が5億二千二十万千円に減少した。

今後は安易な基金の取り崩しを行うことのないように予算の策定を行うとともに、中長期的な財政計画の策定を行い、安定した財政運営に努めること。

また基金運用については現在、低金利なため十分な活用が図られていない。今後は、金利の決定に際して入札制度を導入するなど、確実かつ効率的な運用に努められたい。

なお、ふるさと寄付金に係る積立金については普通預金で管理されていたので今後はより利率の高い定期預金等で適正な管理を行っていただきたい。

⑤地域振興事業について

地域振興事業から得る収益は貴重な財源であり、特産物販売事業においては黒字となっているが、観光事業、温泉事業については赤字となっている。

観光事業全般においてオフシーズンの集客が課題であるため、新しい観光メニューの開発や営業活動の充実を図り、地域事業全般で、広告費等を利用してもっとと営業活動を行っていただきたい。

特に温泉施設事業、観光筏事業についてはエージェント周りをを行うなど集客に努めていただきたい。



予算・決算について議員が問う！
全員協議会・定例会での主な質疑内容

【質問】平成30年度決算において村税収入に滞納があるがどのような理由なのか。また、水道料金についても未収金が計上されているがどのような理由か？

【答弁】村税の徴収率は99%と高い状況です。未収については期限内に納付されてないものがあります。現在は納付されています。

固定資産税での毎年の滞納分について調査し、納税義務者が不明な場合は不能欠損の処理を行うように進めています。

水道料金の未納については、集金人が不在の時期があったため徴収ができていなかった分です。

公共料金の支払いについて口座引き落としで支払いできることを周知し、期限内納付していたできるように努めます。

(総務課長)

【質問】交付税が年々減少しており今年度は前年度比10・8%の減少となっている。また、決算では財政調整金の取り崩し額が1億7千万円と財政的

に厳しい状況になっているが、国からの交付税について今後のどのような見込んでいるか？

また、じゃばら加工場の新設に12億円、おくとろ温泉の改修に1億円と支出が増大しているが、この規模での加工場の整備は本当に実施できるのか？

【答弁】交付税については、平成28年に算定基準の変更があり減少傾向となった。今が一番低い下げ止まりの時期と見込んでいます。

(総務課長)

七色の渡地区へのじゃばら工場の建設については、ここで止まってしまつたら将来マイナスになると思います。

新加工場では衛生面が向上し、搾汁のスピード、製造量とも向上する。また、じゃばらの販売も伸びているので、徐々に村の資金として返ってくると考えている。

(村長)

【質問】森林環境税の譲与税額とその使い道を説明して下さい。

【答弁】今年度の譲与税

額は470万円となり、事業内容は森林所有者へのアンケート調査などの事前調査業務を行います。残りを基金に積み立てておいて、数年後から作業道の整備を行い、間伐などの森林施業の効率化を図ります。

(産業建設課長)

その他の事業説明

【ガソリンスタンド事業】懸案事項であったガソリンスタンドは経営の面から運営は困難という結論に至りました。現在は災害対策という面から防災備蓄を目的として計画しています。

ガソリンの供給については村民の皆様にはご迷惑をおかけしますが近隣のガソリンスタンドでの給油をお願いいたします。

【じゃばら事業の民営化】令和2年4月からじゃばら事業を民営化する方向で進めています。製造工程の衛生管理に対応する職員も雇用し、ハサップ（食品の衛生管理の認証）の取得を目指し、

より安全な製品づくりに努めます。農園管理については新会社で栽培計画を立てて、北山振興に栽培を委託します。

新工場を七色渡地区に整備し、搾汁、ビン製品の加工、果皮のパウダー製品等の製造を行います。このような形で民営化による体制を立て直し、営業にも力を入れて販売額を増やし、その基本となる果実の生産量も増やしていく考えです。



**福村尚議員
葛城健也議員が
引退を表明**

9月議会定例会の閉会に当たり、今期で議員を勇退することになった福村尚議員から次のように御礼と挨拶がありました。

「私、今回の議員の任期をもちまして議会から身を引くことになりました。皆様には議員の活動において様々なご協力をい

ただき本当にありがとうございます。これからは村長、議会が中心となって、益々村の発展に御尽力いただきますようお願いいたします。私の挨拶とさせていただきます。



また、葛城議員は10月11日の総務建設常任委員会において勇退を表明し、「38歳で議員に初当選して以来、先輩議員のご指導を仰ながら4期16年の間、議会活動を続けることができました。」とお礼の挨拶をしました。



一般質問

学校教育について新教育長の考えを問う
学校下のローラースライダー（滑り台）の活用について

前岡 武津雄



学校教育について新教育長の考え方を問う

【質問】これまで元役場職員が教育長を務めてきましたが、このたび中島教育長が任命され、15年ぶりに元学校長が教育長となりました。

3月議会で前教育長が教育行政方針概要について述べましたが、これ以外に、教育長として今後の学校教育をどのように進めていくのかお聞きしたい。

【答弁】教育基本法に基づいて作成された現在の北山村教育大綱と今年度の教育行政方針は素晴らしいものでありますので、大切な指針として推進してまい

ります。

北山村の歴史と文化を愛し、これからの国際社会、情報社会を豊かに生きる人材の育成を目指し、特に次の4項目「北山村の地域特性を生かした教育」「英語を通じた国際理解教育の推進」「信頼される学校づくり」「社会教育と体力づくりの充実」

については、学校教育の教育計画の柱として遂行して参ります。ふるさとを大切に思い、確かな学力とたくましく健やかな体の子供たちを育てていきたいと思

います。その上で私として特に力を入れていきたいことを3つ取り上げてお話しします。

1つ目はリーダーシップを發揮できる管理職を育てるということです。学校が子供たちをはじめ保護者や地域住民のニーズを読み取り効果的な教育活動を展開するために、管理職に教職員一人一人の持つ能力を引き出す資質、能力が求められていま

す。私自身が、校長とともに学校の課題を共有し、コミュニケーションを大切にし、そのスキルを育てながら、校長のリーダーシップを支えていきたいと思

います。

2つ目は教員の資質向上についてです。現在文部科学省は「学び続ける教員像」の確立が必要であると述べています。指導主事を迎えての校内研究授業をこれまで以上に充実させ、学校と教員を支えていきたいと思

っています。

3つ目は、英語教育の推進です。英語は小学校5・6年が教科の授業となります。北山村ではすでに10年前から英語教育に力を入れ、外国人の英語指導助手ナイル先生にお願いし、保育所、小学校、中学校で英語活動と塾を実施して成果を上げています。

今は国がスピードを上げて英語教育について変化を見せていますので、その動向を意識し、これからの北山村の英語教育のあり方を考えていきたいと思

学校下のローラースライダー（滑り台）の活用について

【質問】学校へ上っていく道路下に長い滑り台を置いていますが、子供たちは利用しているか？

利用していただければ下尾井道の駅周辺に移動してはどうか？

【答弁】あの滑り台は小学校新設の平成20年に校庭の滑り台とともに、宝くじ協会の交付金を受けて設置したものです。設置当初は小中学生が使っていました。当初は小中学生が使っていました。したが、児童の減少や校庭外の施設であり子供たちだけでの使用は安全が確保できないという理由で利用頻度が減っています。

今は周辺の木々がうっそうと茂り、枯れ枝もたくさん落ちたままの状態です。毎年決められた安全点検は行っておりますが、利用者は少ないようです。

今後どのようにしていくか、例えば移設することも一つの案ですが、村内にはあの長さの滑り台を設置するための候補地がないように思います。今後の検討課題として皆様のご協力を頂きながら考えていきたいと思

います。

（中島教育長）

国会議員と村議会との対話・協調

世耕弘成参議院
自民党幹事長来村



9月22日(日)世耕参議院自由民主党幹事長が来村されました。山口村長、北山村議会、北山村商工会の役員が迎え、役場の村長室で懇談しました。世耕幹事長はこれまで経済産業大臣として活躍されていましたが、参議院幹事長という重職に就かれました。参議院のまとめ役として、また当地方のために益々活躍していただきたいと祈念いたします。

9月25日に東京で国会議員の方々を訪問しました。第4次安倍内閣で幹事長に再任された二階自民党幹事長と世耕参議院自民党幹事長、浮島智子衆議院議員のもとを訪れ、陳情活動等を行いました。



二階俊博自民党幹事長
世耕弘成参議院幹事長
浮島智子衆議院議員を訪問

二階自民党幹事長、浮島衆議院議員には、10月27日に行われた北山村制130周年記念式典にご来賓として出席していただきました。



議会の防災の知恵袋 No. 6

今年は関東地方、東北地方で台風による大災害が発生しました。被災地の復興にかなりの時間が必要かと思えます。平成23年に起こった台風12号による紀伊半島大水害の経験を思い出します。

ずいぶん秋も深まり、涼しくなりましたが、まだまだ、台風には注意が必要です。昨年も11月に入ってからでも台風が発生していますし、平成2年には、11月30日に強い勢力の台風28号が白浜町に上陸したそうです。また、大規模地震もいつ起こるかわかりません。今一度、災害に備えて、非常持出品、備蓄品のチェックをしてください。早めの避難で命を守り、非常持出品、備蓄品で「万が一」に備えましょう！

非常持ち出し品は避難バッグにひとまとめに入る程度の量にし、すぐに持ち出せるように場所を決めておきましょう。

非常備蓄品は、約1週間分を用意し、家屋が被災しても取り出せる場所に保管しておきましょう。

チェック表

- 現金
- 非常食
- 飲料水
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- ビニール袋
- 安全器具(ヘルメット・ライフジャケットなど)
- 救急医療品
- 常備薬
- 衣類・タオル



チェック表

- 備蓄食料
- 備蓄用の水
- 毛布・寝袋
- 電池
- 万能ナイフ
- 卓上コンロ
- キッチン用ラップ
- ビニールシート
- 新聞紙
- トイレトペーパー



「議会が聞いた北山村出身者の声」

都会で頑張っている村の出身者からの声をお届けします

今回は、大学を卒業後、コンサルティング会社で、得意の英語を活かして活躍している田本貴稔さんに、現在の状況、今に生きる北山村での経験など語っていただきました。



北山村出身の田本貴稔です。私は北山村で生まれ育ち、北山村小学校・中学校で学校生活を送りました。現在は会計事務所母体のコンサルティングファームで働いております。私の担当する仕事内容としては主に日系企業の海外進出・進出後の会計・税務・労務・法務の支援を行っております。

頻繁にコミュニケーションをとる必要があります。会話やメール等では基本的に英語を用いて意思疎通をとるようになります。

他の社員はこの意思疎通が上手いかないケースが多いのですが、私の場合は幼い頃から英語を使う機会に恵まれていたため、英語に対する抵抗感がほとんどなく、積極的な姿勢で海外の人間とコミュニケーションをとることができています。私は北山村の小学校・中学校で学んだ経験が今の仕事に非常に良い影響を与えてくれたと考えています。

北山村の教育制度の特徴として、「少人数制授業」として、「英語教育」の2つが挙げられます。特に英語教育には、

当時から北山村として力を入れており、私自身も他の一般的な学校では経験できないことを体験させていただきました。具体的には、日常的にA

LTの先生と会話できたことや海外への修学旅行に行く機会を与えていただいたことです。

私の場合、アイルランドに修学旅行に行きましたが、未知の場所でのホームステイや飛行機での長時間の移動は私の人生観に大きな影響を与えてくれました。その後は北山村を離れましたが、大学在学中には様々な国を観光で訪れることもあり、交換留学でカナダに長期滞在することもありました。このような経験から海外の方とより多く関わることで、異国の様々な文化・価値観を学び、吸収することができ、結果的に語学力も身に付けることができました。

これら意思決定には英語の将来性にいち早く目を付け、英語教育に早くから力を入れていた北山村で教育を受けられたことが大きく影響しています。幼い頃から海外に関わる機会を持つということはその人間の将来の生き方に大きな影響力を持ちます。他にも様々な経験があるかと思いますが、少なくとも今の私には大きな意味を持っています。何故なら、過去の経験には人間の性格や生き方を形成するきっかけになるからです。私の場合、北山村小学校・中学校で学んだことが、とても貴重な人生の財産となっています。

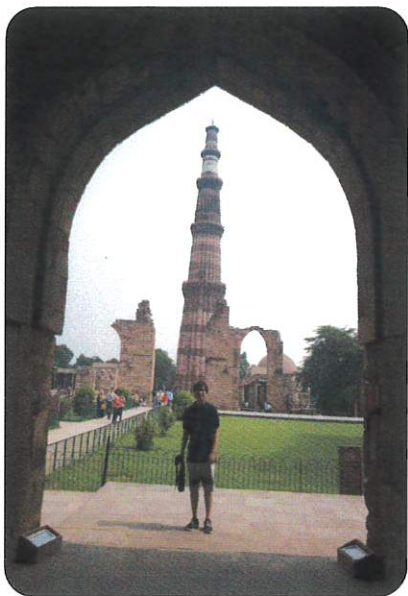


写真 上段：職場の同僚と
下段：クトゥブ・ミナール（世界遺産となっている塔）の前で

今後このコーナーでは、村出身者からの声をお届けします。ご家族やご親戚で村外で活躍している方がおりましたら、ぜひともご寄稿のご依頼をお願いいたします。

議会日誌

8月

- 2日 県町村議会全議員研修(有田川町)
- 20日 総務建設常任委員会(役場)
- 23日 和歌山県行政報告会(村民会館)
- 28日 新宮周辺広域圏事務組合議会(新宮市)

9月

- 3日 太地町正副議長就任挨拶(役場)
- 10日 近畿地方整備局長訪問(大阪市)
- 12日 議会運営委員会・全員協議会(役場)
- 13日 北山村敬老会出席(村民会館)
- 17日 9月議会定例会(役場)
- 24日 国會議員訪問・広報委員研修(豊洲市場視察(東京都))

10月

- 6日 村民運動会での餅まき(小中学校)
- 11日 総務建設常任委員会(役場)
- 15日 町郡町村議会全議員研修(那智勝浦町)
- 16日 国道168号線改良促進協議会総会(大阪府)
- 24日 熊本県産山村議会来村 視察対応(おくところ温泉じゃばら屋)
- 27日 紀勢国道事務所訪問(松阪市)
- 29日 村制130周年記念式典(村民会館)
- 30日 森林環境税 感謝の集い(東京都)

11月

- 1日 村議会議員選挙立候補予定者説明会(村民会館)
- 15日 総務建設常任委員会(役場)
- 26日 村議会議員選挙告示日(役場)
- 27日 30日 村議会議員選挙期日前投票(村民会館)

12月

- 1日 村議会議員選挙投票(村民会館)
- 下旬 議会運営協議会・全員協議会(役場)
- 12月 議会定例会(役場)

1月

- 3日 成人式(村民会館)
- 4日 消防出初式出席(おくところ公園)

11月以降の予定

編集後記

消費税が10%になり1か月になります。軽減税率として食料品、新聞など生活必需品は税率が8%に据え置かれることや、クレジット決済、スマホ決済などのキャッシュレス決済をしたときのポイント還元などがわかりにくいですが慣れましたか？私もどこで何をかって、どういう支払いをしたら得になるか、そんなことばかり考えてしまう今日この頃です。今回の軽減税率はいつまで続くのかは未定となっていますので、早く慣れること、より多くのポイントが還元されるようにしたいと思います。

さて、消費税増税の軽減税率では、外食する際に飲食店で食べるのと、テイクアウトで持ち帰るのでは税率が異なり持ち帰りの方が税率が8%になり支払額が安くなること。理由は外食は贅沢なことになるからでしょうか。自炊するための食材というなら軽減税率ということでも納得できますが、同じものを食べるのにどこで食べても税率は同じにすればと思いますが。

テイクアウトして、店で食べることを選ぶ人が増えるだろうと思います。

持ち帰りが多くなると様々な無駄や悪影響が出てくるのではないのでしょうか？持ち帰るには、そのための容器や包装紙、ビニール袋などを使うことになり、資源の無駄が多くなること、収集、焼却するごみが増えることになります。さらに最近ではプラスチックごみが海洋汚染の原因になっていると言われおり、テイクアウトすることでごみのポイ捨てが増える恐れもあります。

家計にも地球にもやさしい制度ができないものでしょうか。



10月27日に開催された村制130周年記念式典の写真です。たくさんのご来場ありがとうございました。